

## 令和4年5月定例記者会見

令和4年5月26日（木）

### 冒頭コメント

本日の発表項目は4件ありますが、その前に新型コロナウイルス感染症の状況を報告します。

まず、全国の感染状況ですが、陽性者数はかなり減ってきています。1日あたりの陽性者数は一番多いときで約10万3,000人でしたが、5月25日は3万5,190人ですので、かなり改善してきていると思います。大分県と大分市についても減少傾向ではありますが、全国ほどは減っていません。これは九州各県同じで、特に宮崎県などはまだ多い状況が続いています。

抗原検査センターでの陽性者数が大きく減ってくると、市中感染が収まってきているのではないかと考えているのですが、昨日は陽性者が8人で、今日も8人です。ゼロに近い数字になったこともありましたが、市中感染においてもまだ収まる状況にはないと思います。抗原検査センターでの陽性者数は延べ1,406人で、検査人数は延べ41万人になっています。県外から来られた方も含まれていますが、大分市の人口に近い人数の方に利用されています。

鶴崎と明野の検査所についても、この状況では閉められる状況ではないと考えています。鶴崎と明野の検査所は現在テントで運営していますが、雨や台風に備えて6月1日からはコンテナハウスを設置して、引き続き検査を行うこととしています。

小中学校や幼稚園、保育園の陽性者数についてもなかなか減りません。一時期、高校の部活動での陽性者が多かったので、小中学校や幼稚園、保育園等は少ないと思っていたのですが、最近では家庭内感染が増えた関係で、小中学校や幼稚園等での陽性者が増加しています。

小中学校の学級閉鎖の状況についてですが、前は一人でも陽性者が出たら学級閉鎖していたのですが、今は2人出たときに状況を見ながら学級閉鎖するように緩和しています。24日は13クラス、本日は小学校が3クラス、中学校が4クラス、合わせて7クラスが閉鎖しています。

認定子ども園や幼稚園、保育園の休園についてはゼロが続いています。閉鎖しているクラスについては、25日は8クラスとなっており、本日も8クラスです。また、登園自粛については、25日は6クラスだったのが、本日は1クラスになっています。登園自粛者数は、24日は145人、本日は101人と、登園自粛に協力いただいている方が100人以上います。

無症状の陽性者数については、25日は9人、本日は14人です。積極的疫学調査の対象を絞っていますが、65歳以上の方などを調査してみると、まだ無症状の陽性者がいます。疫学調査の重点化前と比べると減っていますが、無症状の陽性者は2桁ぐらいいる状況が続いています。

国において、マスク着用などの緩和が進められています。基本的には全国的に言われているように、お子さんは重篤化しづらく、2日ぐらい発熱した後はすっかり治って、後遺症もない方がほとんどです。保健所で後遺症の相談を受けていますが、後遺症についての相談はほとんどありません。治療薬もありますし、ワクチン接種も進んでいることでもありますので、基本的には緩和をしながら、どうやってコロナと付き合っていくかというのが正しい対応だと思います。

マスクの着用の仕方について、厚生労働省と文部科学省の連名で通知されました。そして、県からも通知があり、本日、教育委員会と子どもすこやか部から、マスクの着用について改めて通知を発出しています。

小中学生などの就学児について、マスクの着用が必要ない場合としては、屋外では、人との距

離が確保できる場合や、確保できなくても、会話しないで歩いている場合などです。屋内では、人との距離が確保できて、会話をほとんど行わない場合です。例えば、図書館で読書するときはマスク着用の必要がないとされています。学校生活においては、プールや体育館、体育の授業、部活、登下校もマスク着用の必要がないとされています。

また、幼稚園児などの就学前児について、2歳未満のお子さんについては、熱中症のほう心配ですから、マスクの着用は推奨しません。2歳以上のお子さんについては、一律には求めませんが、体調を見ながら十分注意した上で着用ということになっています。オミクロン株は、基礎疾患がある方以外はあまり危険ではないということ踏まえた対応になっています。

マスク着用の考え方については、国の考え方と大分県・大分市の考え方は同じです。変更点は、屋内において、会話をほとんど行わず、2メートル以上を確保できるときは、「着用の必要はない」としています。これまでは「着用を推奨」となっていました。また、屋外においては、会話をほとんど行わず、身体的距離が確保できないときは、「着用の必要はない」としています。例えば、徒歩で通勤など、屋外で人とすれ違うような場合、「着用の必要はない」としています。これまでは「着用を推奨」となっていました。この2か所が前と変わっています。

## 1 発表項目

### 《1. 新型コロナウイルスワクチンの追加接種（4回目接種）について》

まず、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種についてです。

対象は、3回目接種から5か月経過した人で、60歳以上の人と18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する人です。大分市では約17万人の方が対象で、うち60歳以上の方が15万人、60歳未満で基礎疾患を有する方が2万人です。これは、厚労省の全国統計で人口の約8%の方が基礎疾患を有するとなっていますので、2万人としています。

接種券については、5月31日から発送を開始します。60歳以上の方については、5か月を経過する方へ順番に発送し、基礎疾患を有する方については、こちらにリストがあるわけではありませんので、申請をいただいた方にお送りすることとしています。

予約は接種券が届き次第可能ですが、接種券が来る前に早く打ちたいという60歳以上の方については、コールセンターに電話をいただければ予約可能となっています。

基本的に個別の医療機関はモデルナ社製、集団接種会場の大分こども病院会場と九州電力大分支店会場はファイザー社製、県営接種センターはモデルナ社製のワクチンを使用します。また、植田支所、大在支所、大南支所の会場は、7月から接種を開始する予定です。

予約方法は今までと同様に、ウェブやコールセンター、医療機関に直接予約、予約サポート窓口となっています。

特にオミクロン株に対しては、感染予防効果は若干今までのデルタ株などと比べて低いようです。手洗いや換気等を行っていただかないと、接種回数に関係なく感染することはあります。重症化予防の効果はあると言われてしますので、接種をする意味はありますから接種を希望される方はできるだけ行っていただきたいと思いますが、ワクチン接種が済んだから怖いものなしというわけではありません。

## 《 2. 新たに「大分市高潮ハザードマップ」を作成しました 》

2点目は、新たに作成した高潮ハザードマップについてです。

全部で7区域の高潮ハザードマップを作成しました。これを6月1日号の市報と併せて、対象地域の方に全戸配布します。

高潮とは、気圧の変化等で海面が異常に上昇するもので、海水が堤防等を超えると一気に浸水することがあり、津波と同じような災害をもたらします。平成11年の台風18号により、熊本県の八代海で3メートル以上の高潮が発生したときには、12名の方が亡くなり、家屋の浸水が18戸、道路も約1,600メートル破壊されたという恐ろしい被害がありました。

このような災害の状況を踏まえて、平成27年に水防法が改正され、想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域が公表され、これを受けて今回ハザードマップを作成しました。高潮に関する情報や、どこで高潮が発生するのかを認識していただいて、備えていただくということをお願いします。高潮が地震による津波と違うのは、高潮の場合は台風が来たときなどに起こるので、3時間ぐらい前から高潮が来そうだと分かることです。

東大分や西大分、鶴崎などの7つの地域ごとに作成しており、どのくらいの浸水になるかを5段階に色分けして表示しています。浸水想定としては、中心気圧が室戸台風の900ヘクトパスカル、移動速度が伊勢湾台風の時速73キロの場合に、どのようなことが起きるか、浸水地域はどこになるかを示しています。

また、英語版も作成して、ホームページに掲載して、ダウンロードできるようにします。

配布等については、6月1日号の市報と共に、浸水想定区域に当たる189自治会に、約7万5,000部を配布します。そのほかにも、転入者や希望者向けとして、河川・みなと振興課や各支所等で配布する予定です。また、「おおいたマップ」という行政情報等の地図情報を提供しているサイトにおいても、ハザードマップの地図面の情報を公開する予定です。

高潮により重大な災害が発生するおそれがあると予想される場合には、気象庁から高潮警報が発令されます。それが発令されると、大分市からは避難指示を出します。それからおそらく3時間ぐらいの余裕がありますので、台風等の暴風警報が出ているときは前倒しする必要がありますが、避難指示が出たときには、緊急避難場所に避難したり、間に合わないときにはできるだけ高いところに避難したりするようにお願いします。

平時においては、ハザードマップで自分のところが高潮に襲われる場所かどうかを確認していただいて、避難場所や避難ルートを確認していただくとありがたいと思います。高潮警報は大分市で発令されたことはありませんが、高潮注意報は令和3年度に9回、令和2年度に7回発令されています。今後、高潮警報が発せられる可能性もありますので、ぜひこういうものを見ていただいて、備えをしていただくとありがたいと思います。

## 《 3. 豊予海峡ルート推進シンポジウムの申込状況等について 》

3点目は、豊予海峡ルート推進シンポジウムについてです。

5月30日に東京のザ・キャピトルホテル東急とJ:COMホルトホール大分をつないでシンポジウムを開催し、情報発信を行います。会場の様子はYouTubeでも視聴できるようにします。

コロナ禍ということもあり、東京会場、大分サテライト会場とも各100名の定員としていま

したが、2会場とも満席になっています。ウェブ視聴は155名で、このチラシの裏にある2次元コードからウェブで視聴できます。

国土交通省の担当課長や内閣官房、日本青年会議所会頭の中島さん、国会議員も大分側だけではなく、四国側からも多数出席をいただきます。豊予海峡に関する今までの研究成果などについて、全国に向けて情報発信を行いたいと思います。

先週、九州市長会で飯塚市に行きましたが、国への要望として、豊予海峡ルートは文面を採択していただいています。おとといは、私が会長をしている九州国道協会の総会が長崎市であり、国道の整備がとても重要だという議論を九州地方整備局長や国会議員と行いました。豊予海峡ルートは、道路の計画名称でいうと豊後伊予連絡道路といいます。国道197号線は佐賀関から愛媛の佐田岬に続いています。国道九四フェリーは197号線の海上区間をフェリーで結んでいるものです。ここは豊後伊予連絡道路を整備しましょうという議論もさせていただいて、豊予海峡ルート整備を国に要望していく一環として、シンポジウムを行う予定にしています。

そして、豊予海峡ルートが地域あるいは国に与える社会経済効果について、興味深いデータがありますので、紹介させていただきます。

豊予海峡ルートを含む四国新幹線、東九州新幹線が整備された場合に、GDPやGRP（グロスリージョナルプロダクト：地域内総生産）等に与える影響について、京都大学の藤井先生に試算していただきました。

東九州新幹線についてはルートがまだ未確定ですが、今回は仮に、九州北部から大分を通って、鹿児島に向かうルートにしています。また、四国新幹線については、本来は豊予海峡の部分も含めて全国総合開発計画上の四国新幹線と呼ぶのですが、分かりにくくなりますので、今回は豊予海峡の部分と分けています。これらが整備されたときにどのような影響があるのかという分析をしました。

推計の前提としては、北海道新幹線とリニア中央新幹線、北陸新幹線、西九州新幹線が完成しているとして、それぞれ、豊予と四国、東九州ができたらどうなるのかを推計しました。

整備費用については、豊予と四国を合わせると2.3兆円で、うち豊予は7,000億円です。これは大分市が今まで行った調査結果で算出されています。東九州新幹線を含めると4.9兆円という設定です。

アクセシビリティについてですが、これらが整備されると、大分ー松山間は238分かかっているのが38分で行けます。大阪まで2時間、東京まで1時間で、足して3時間で行けるようになります。四国は高松ー松山間が142分かかっているのが42分で行けます。東九州は、大分ー北九州間が83分かかっているのが31分で行けます。

推計モデルについては、人口や生産量、地域間の関係などを組み込んだモデルで、マクロモデルの日経NEEDSの2分の1ぐらいの大きさの式を持っています。これは京都大学の藤井研究室が開発したものです。通常のマクロモデルにアクセシビリティによる生産量の増加等の効果を加えて推計するのが、このモデルの特徴です。

では、このモデルでの計算結果についてです。GDPは2019年で557兆円ですが、2050年で583兆円になったとして、豊予と四国ができるとプラス3.4兆円になります。豊予と四国、東九州が全部できると、プラス5.6兆円になります。うち、豊予の効果は0.8兆円、0.9兆円あります。これは2050年度の単年で見た場合です。

次に累計です。今整備できたと仮定して、23年から50年までの累計ではどうなるかという  
と、累計のGDPが1京6,235兆円で、豊予+四国で29兆円増えて、豊予+四国+東九州で  
あれば51兆円増えることになりまして、東九州のあるなしで分けていますが、どちらにしても  
大きな効果があります。

税収については、2023年から2050年までで、累計で2,570兆円の税収があります。  
所得税、法人税等ですね。豊予と四国ができる3.2兆円税収が増えますと。豊予、四国、東九  
州ができる5.7兆円税収が増えますということで、この数字と先ほどの整備費用を見ていただ  
くと、豊予+四国+東九州の整備費用が4.9兆円かかるといいましたが、それらが整備され  
ると、2023年から2050年までの27年間に税収が5.7兆円上がりますから、税収が費用よ  
りも増えるという計算になります。

GRPについては、2050年で71兆円ですが、豊予+四国で5.1兆円、豊予+四国+東九  
州で10兆円増えるという試算になっています。豊予と四国の整備によるGDPが3.4兆円で、  
GRPが5.1兆円と、GDPよりもGRPのほうが増えています。なぜかという、これらが整  
備されると、この地域にいろいろなものが集積される分、ほかの地域では減ってしまうとい  
うことです。ほかの地域も相乗効果で増えるのではなくて、四国や九州が増えると、どこかで割を食  
う地域があるということにはなりません。

2050年の人口については、四国だけ整備されると大分は人口減となるのですが、豊予がで  
きると12.1万人増えます。東九州と豊予、四国が整備されると、大分は37万人増えます。  
今、大分は人口約110万人の県ですから、大幅に人口が増えるという試算になります。

インフラが整備されると人口は増えます。特に新幹線は、群馬県の高崎や前橋などの良い例が  
たくさんあります。これは藤井先生も前からおっしゃっています。熊本が政令指定都市になり、  
人口が増えているのも、新幹線の影響が大きいと思います。

人口については、豊予海峡ルートができなくて第3関門海峡ができると、おそらく福岡の人口  
は大幅に増えると思います。大分の人口が増えて福岡の役割を分担することによって、福岡のア  
メニティが上がるということもあるのではないかと思います。

まとめとして、税収も大きく増え、高い投資効果があり、人口の集積効果も高いという結果に  
なりました。豊予海峡ルートの整備効果は大分だけではなく、愛媛、宮崎にも及びます。先日、  
松山市に行った際に、「四国新幹線が松山までだと、その効果は半減します。九州まで抜けてこ  
そ、四国新幹線の意義が高まります。」という話をしました。松山までではなく、大分まで、九  
州までつなぐと、愛媛や宮崎にも大きな効果があるということがわかりました。

#### 《4. おおいたホームタウン推進協議会に「大分Bーリングス」と「Sparkle Oita Racing Tea m」が新たに加盟しました》

次は、おおいたホームタウン推進協議会への新規加盟についてです。

おおいたホームタウン推進協議会という大分市のプロスポーツを応援しようという協議会があ  
り、私が会長になっているのですが、今週月曜日にその総会が開かれました。今までは大分トリ  
ニータと大分三好ヴァイセアドラー、バサジィ大分の3チームの応援をしていましたが、大分B  
ーリングスとスパークルおおいたレーシングチームが新たに加わりました。これにより、大分市  
が応援するプロスポーツチームは5つになりました。

ホームゲームの市民招待、垂れ幕の作成、イベントの開催、ファンと選手の交流会などの取り組みを行っています。また、市報の最終ページのイベントカレンダーに、大分Ｂーリングスや大分トリニータなどの試合のスケジュールを載せて、市民の皆さんに応援に行きましょうという働きかけをしています。

大分Ｂーリングスは、プロ野球独立リーグの九州アジアリーグに所属し、別大興産スタジアムを本拠地として活動しています。九州アジアリーグは、去年は熊本と大分の２チームでしたが、今は福岡北九州フェニックスが加わりました。３チームでリーグ戦を行い、ソフトバンクの３軍とも交流戦を行っています。

スパークルおおいたレーシングチームは昨年設立して、昨年も大分のサイクルレースをはじめ、さまざまレースで活躍していますが、今年もプロのレーシングチームとしてＪＣＬ（ジャパンサイクルリーグ）という自転車競技団体に活躍しています。

大分トリニータについては、昨シーズンＪ１の２０チーム中１８位でＪ２に降格して、今は１５位と厳しい状況が続いていますが、何とか上がってほしいと思います。バサジィ大分は非常に強くて、昨年も１２チーム中４位でしたが、大分三好ヴァイセアドラーは惜しい試合をするのですがなかなか勝てなくて、１０チーム中９位で終わりました。今はシーズンオフですがもうすぐ次のシーズンが始まると思いますので、また応援していきたいと考えています。

### 《その他 大野ひかる選手について》

大分市職員の大野ひかる選手が、空手のプレミアリーグのラバトで優勝して、世界ランキング１位になりました。現在のランキングは、大野選手が１位で、東京オリンピックで金メダルを獲得したサンドラ・サンチェス選手が２位です。ラバトで戦ったロウ・モ・シャン・グレイス選手が３位で、東京オリンピックで銀メダルを獲得した清水希容選手が５位となっています。

今度、アメリカのアラバマ州のバーミングハムでワールドゲームズという非オリンピック種目の大会に出場することになっています。

他のスポーツでも世界ランキングが１位の日本選手は、今はなかなかいません。今日の時点でワールドランキング１位ですが、今後の試合結果によって、入れ替わることはあります。今回１位になりましたので、引き続き応援していただければと思います。

## ２ 質疑応答

### 《２．新たに「大分市高潮ハザードマップ」を作成しました》

記者 高潮ハザードマップについて、市民にどのように活用してほしいと考えていますか。

市長 今までなかったような豪雨や台風等が最近頻繁に発生しています。高潮が大分を襲って、死者が出るような災害が発生しないとも限りません。今回マップが配られた地域は、高潮によって浸水するおそれがありますので、まず確認していただいて、高潮に対して注意を払っていただきたいと思います。そして、もし発生したら、どこに避難をするのかなどの行動について確認していただけるとありがたいと思います。

地震による津波に比べると時間の余裕がありますから、知識があれば安全が確保できると思います。高潮にも関心を持って、注意を払っていただき、備えをしていただきたいと思います。

います。

## 《 2. 新たに「大分市高潮ハザードマップ」を作成しました 》

記者 高潮に特化したハザードマップの作成は大分市では初めてでしょうか。そして、県内で作成している自治体はほかにあるのでしょうか。また、直近で高潮警報はいつ出たのかを教えてくださいいただけますか。

市長 大分市で高潮ハザードマップを作ったのは今回が初めてです。県内の自治体については・・・。

担当課 令和4年4月末時点で把握しているのは、県内で約10市が作成に当たっています。

市長 高潮警報の発表記録というのは、今のところありません。高潮注意報の発表は、令和3年度は9回、令和2年度は7回行われています。

記者 大分市の地形的なもので特に注意しなければいけない点などがあれば教えてください。

市長 海岸部の沿線がありますから、今回の高潮ハザードマップも、海岸部が多いですけど、そういう意味で、高潮に襲われやすい地域になっていると思います。

## 《 3. 豊予海峡ルート推進シンポジウムの申込状況等について 》

記者 都心で初めてのシンポジウム開催となり、国の中枢の方も来られるかと思っています。改めてそうした方にメッセージを発信する意気込みや市長の思いを教えてくださいいただけますか。

市長 豊予海峡ルートはB/Cも非常に高いですし、災害対策上の効果や全国に与える経済的効果も非常に大きいものがあると考えています。そのような点について、国の政策を決定するような方々に改めて認識を深めていただき、海峡部の整備は基本的にはまだ凍結という形になっているのですが、大変重要な部分については取り組んでいこうと変えていく契機に、原動力になってもらえればと考えています。

## 《その他 大分七夕まつりについて》

記者 大分市まつり振興会が大分七夕まつりを3年ぶりに通常開催するというのですが、これに対しての市長のお気持ちや意気込みを教えてくださいいただけますか。また、この中で花火大会を検討中ということですが、この検討というのは金額や規模など、どの部分を検討されているのか教えてください。

市長 府内戦紙をはじめとした七夕まつりが、2年間開催できませんでしたが、今年は開催に向けた準備が進められているのは、大変喜ばしく、またうれしいことだと感じています。オミクロン株は比較的重症化しづらいということもありますし、様々な対処の仕方が進んできていますので、私どもも十分に対応しながら安全を確保して祭りを開催することができると考えています。実行委員会の皆さんと協力しながら、安全で、にぎわいを取り戻した七夕まつりを今年はぜひ開催していただきたいと思います。

花火については、大分合同新聞社の主催になっていると思いますので、大分合同新聞社さんのほうでも慎重に御検討いただいていると認識しています。

## 《その他 昭和井路について》

記者 農業用水路、大分市内の昭和井路で問題が起きているという報道がありますが、これにつ

いての受け止めや市の対応などがあれば教えていただけますか。

市長 昭和井路の修復工事が遅れて、稲作に大きな支障が出ているということは、大変残念なことだと思います。

土地改良区の監督権限は大分県にありますので、県と協力しながら、稲作が続けられるように様々な支援をしていきたいということで、関係者の間で検討しているところです。工事が遅れてしまったことは残念ですが、大事な水田地帯ですので、来年以降に稲作ができるように、善後策など必要な対応を、県や昭和井路としっかり連携して取り組んでいきたいと思います。